滋賀県レイカディア大学　第37期　学生募集

問滋賀県社会福祉協議会(☎０７７－５６７－３９０１)

滋賀県レイカディア大学とは、自ら学び、新しい知識と教養、技術を身につけ、地域の担い手となるための生涯学習の場です。

【対　象】60歳以上（平成26年10月１日現在）で地域の担い手としての活動をめざす人

【内　容】「人間理解」、「郷土理解」、「学校行事」などの必修講座と「園芸学科」、「健康づくり学科」などの選択講座

【開設者】滋賀県社会福祉協議会

【修業年限】10月～平成28年９月(２年間)

【授業料】年額50,000円(教材費は別途必要)

【出願手続】７月23日(水)までに入学願書に必要事項を記入のうえ、郵送で下記まで。

※募集要項および入学願書は高齢福祉介護課、北部振興局福祉生活課・各支所で配付しています。

問合せ・願書提出先
滋賀県レイカディア大学草津校(本部)
〒525－0072　草津市笠山7－8－138
〈県立長寿社会福祉センター内〉
☎０７７－５６７－３９０１

◆滋賀県レイカディア大学米原校 大学祭

学生パワーを体感してください！

在学中の35・36期生の園芸学科・北近江文化学科・健康づくり学科の学生が、大学で学んだ学習成果を発表します。

来場者への各種プレゼントや学生ＯＢによる展示・発表もあります。

お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

【と　き】７月30日(水)13時～15時　展示
７月31日(木)10時～15時　展示、体験コーナー
８月 １日(金)10時～15時　ステージ発表、展示

【ところ】滋賀県立文化産業交流会館(米原市下多良)

問滋賀県レイカディア大学米原校事務局
☎５２－５１１０

夏を彩る風物詩

第16回長浜ゆかたまつり

中心市街地一帯で、「長浜ゆかたまつり」を開催します。

各商店街による『まちかど夜市』や『まちかどコンサート』を始め、「ゆかたコンテスト」やオリジナルスイーツの食べ比べが楽しめる「スイーツコンテスト」、子どもの遊び場「キッズブース」、独身男女の出会いのきっかけをつくる『ゆかたdeかっぷりんぐwithダックツアー』など盛りだくさんです。ご家族・友人と誘い合わせて、ゆかたで中心市街地へお越しください。

【と　き】７月19日(土)17時～20時30分

【ところ】中心市街地一帯

問長浜ゆかたまつり実行委員会事務局〈長浜商工会議所内〉(☎６２－２５００)

ゆかたコンテスト

今年は親子部門(中学生以下の子どもと親)とゆかたクイーン部門(高校生以上の女性)の２部門で競います。各部門とも、２分間のアピール(浴衣の着こなし、バランス、アレンジなど)で審査を行います。

キッズブース

昨年に引き続き、やわた夢生小路商店街で子ども達の遊び場『キッズブース』を開催します。

当日はスーパーボールすくい、射的、空中くじ、輪投げ、綿菓子、ビンゴゲームなどのアトラクションを数多く用意し、楽しんでいただきます。

第２回スイーツコンテスト

市内の洋菓子店、和菓子店(飲食店など)に「夏のときめきスイーツ～フルーツを添えて～」をテーマに、オリジナルスイーツを考案してもらいます。

当日は来場者に評価(販売・実食)していただき、スイーツチャンピオンを決定します。

シリーズ

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、446件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介します。

※平成26年４月１日現在

市指定文化財　歴史資料
絵馬十里町遺跡出土品　１点
（附須恵器ねり鉢　１点）

所有者：長浜市
昭和26年３月27日指定

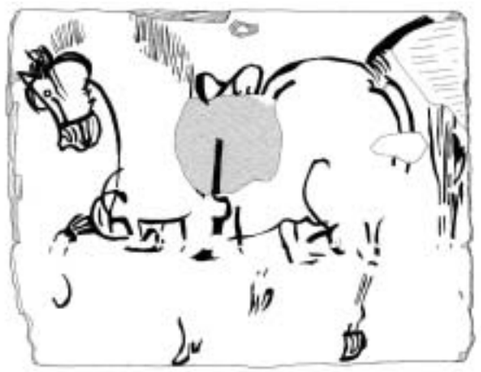
絵馬は、神社や寺院に祈願するとき、あるいは祈願した願いが叶ってその謝礼をするときに寺社に奉納するものです。

奈良時代の『続日本紀』には、神の乗り物としての馬・神馬を奉納したと記されています。しかし、馬は高価で奉納しにくく、また、奉納された寺社でも世話をするのが大変なため、馬を奉納できない者は、次第に木や紙、土で作った馬の像で代用するようになり、平安時代から板に描いた馬の絵で代えられるようになりました。室町時代になると馬だけでなく様々な絵が描かれるようになりました。板絵の絵馬が盛んになった桃山時代から江戸時代にかけては、絵馬堂という絵馬を飾る建物まで建てられるようになりました。

十里町遺跡は、十里町に所在する縄文時代中期から平安時代を中心とした遺跡で、掘立柱建物跡や溝状遺構（小水路）、土坑状遺構が見つかっています。古墳時代前期の水路跡からは多数の土器や奈良時代から平安時代前期の斎串、人形、檜扇などの木製品の他、「伊香郷（あるいは伊香厨）」・「寺」と読める文字を記す墨書土器が出土しており、公的な性格を持った遺跡と考えられています。

出土した絵馬は、昭和60年の圃場整備事業に伴う事前調査で出土しました。絵馬が出土した遺構の大きさは、長径１２０㎝、短径80㎝、深さ65㎝の楕円形の土坑状遺構から須恵器のねり鉢１点とともに出土しています。絵馬は縦16・８㎝、横23・７㎝、厚０・８㎝の長方形のヒノキ材の表面に、巧みな筆致で左を向いて右前足をあげた馬の姿を画面いっぱいに墨で描いています。写実性に富み、繊細な筆の運びで馬の表情をよくとらえ、鞍・鐙などの馬具も表現しています。中央上端には紐を通した小孔が穿かれています。保存状態も良好であり、学術的価値が高い資料です。そして、同一遺構から出土した須恵器のねり鉢は奈良時代から平安時代のもので、絵馬の年代の指標として重要であるため、合わせて一連の資料として、指定文化財として保存されました。

▲出土した絵馬



▲絵馬実測図

問文化財保護センター（☎64-0395）